

令和5年度(2023年度)つくば市役所温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量等実績(対象:つくば市庁舎及び出先機関)

項目	2013年度 (基準年度) 実績値	2022年度 実績値 (*は、調整後)	2023年度 実績値 (*は、調整後)	基準年度 からの増減 (調整前)	基準年度比 (%)	前年度比 (%)	増減の主な要因	
温室効果ガス総排出量 (t-CO2)	51,566	53,251 *52,528	50,159 *47,829	△ 1,408	-2.7%	-5.8%	・運輸部門の排出量は、前年度から32t-CO2増加した。後述のとおり、ガソリン車・軽油車とも、前年度よりも走行量が増加し、燃料の購入量が増加したことが要因である。	
部 門 別	運輸部門	739	623	△ 84	-11.4%	5.1%	・業務その他部門の排出量は、前年度から1,413t-CO2減少した。後述のとおり、電力やA重油、灯油の購入量が減少したことが要因である。	
	業務その他部門	19,916	19,327 *18,604	17,914 *15,584	△ 2,002	-10.1%	-7.3%	・その他ガスの排出量は、前年度から1,763t-CO2減少した。サステナスクエアで焼却するプラスチックごみの焼却量が、565t減少し、プラスチックごみの焼却に起因するCO2排出量が減少したことが主な要因である。
	その他ガス	30,905	33,295	31,584	679	2.2%	-5.1%	・HFC等4ガス(フロン類)の排出量は、前年度から0.25t-CO2減少した。カーエアコンの使用台数が減少していることに加え、HFC-134aの地球温暖化係数が小さくなったことが要因である。
	HFC等4ガス(フロン類)	7	6	6	△ 1	-13.9%	-4.3%	
電力購入量 (kWh)	33,307,086	37,613,554	36,298,501	2,991,415	9.0%	-3.5%	・電力の購入量は、前年度から1,315,053kWh減少した。年間を通しての自己託送実施により、託送先施設における電力の購入量が抑えられたことが、主な要因として考えられる。	
ガソリン購入量 (L)	216,745	195,076	200,874	△ 15,871	-7.3%	3.0%	・ガソリンの購入量は、前年度から5,798L増加した。前年度よりガソリン車全体の走行量が約133,000km増加していることが要因である。なお、平均燃費は10.5km/Lで、前年度の10.1km/Lから向上した。	
軽油購入量 (L)	89,696	66,154	73,148	△ 16,548	-18.4%	10.6%	・軽油の購入量は、前年度から6,994L増加した。前年度より軽油車全体の走行量が約36,000km増加していることが要因である。なお、平均燃費は4.1km/Lで、前年度の4.0km/Lから向上した。	
A重油購入量 (L)	162,800	63,290	56,540	△ 106,260	-65.3%	-10.7%	・A重油の購入量は、前年度から6,750L減少した。改修工事のため、稼働が少なかった施設があることが要因である。	
灯油購入量 (L)	520,477	319,450	317,368	△ 203,109	-39.0%	-0.7%	・灯油の購入量は、前年度から2,082L減少した。灯油ボイラーの廃止により、灯油を購入しなくなった施設があることが要因としてあるほか、一昨年度と比較して冬季(1~3月)の平均気温が高かったため、石油ストーブ等の燃料としての需要が少なかったと考えられる。	
都市ガス使用量(m³)	572,328	1,229,879	1,233,662	661,334	115.6%	0.3%	・都市ガスの使用量は、前年度から3,783m³増加した。令和5年度に開校した新設校で約3,400m³の使用があった。都市ガスの供給圏内ではエネルギー転換が進んでおり、今後も都市ガス使用量の増加が予想される。	
プロパンガス使用量(kg)	46,957	36,920	34,915	△ 12,042	-25.6%	-5.4%	・プロパンガス使用量は、前年度から2,005kg減少した。特筆して使用量が増加・減少した施設はなかったが、灯油と同様に、冬季(1~3月)の平均気温が高く、給湯用としての需要が少なかったと考えられる。	
熱使用量(MJ)	6,895,973	6,671,354	6,704,624	△ 191,349	-2.8%	0.5%	・熱使用量は、前年度から33,270MJ増加した。つくばカピオでの使用量が約400,000MJ増加した一方、今年2月にオープンしたコリドイオへの施設集約や準備期間を受け、関係施設での使用量が約400,000MJ減少した。	

※2022年度の斜体の実績値は、ごみの組成比の算出方法変更に伴い、修正となった算定値